

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表(ゆめキッズ)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			適切なスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			児童発達支援管理責任者、管理者、児童指導員が常勤であり、マンツーマンのサポートが出来ます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		車いす用のスロープは手配しているが、身体障害者用の手摺などは未完備です。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			個別支援計画書以外にも発達支援の記録を残し、毎日職員間で共有しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートを実施しています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公表しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者による外部評価を形式的に行っていないが、他事業所からのアドバイスなどは積極的に取り入れ、業務改善を行っています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修案内を周知し、研修報告書を職員間で共有しています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			お子様のニーズと保護者のニーズを分けて集計したアセスメントを行っています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		医療機関などの外部機関から頂いたWISKやK-BAC等のスケールをアセスメント時に活用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			療育や学習支援の教材は、チームミーティングで取り決めていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			療育プログラムは、その日の児童の課題やコンディションに応じて変更し、同じ活動が連続しないように配慮しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇には、イベントを通し食育や職業体験など、平時とは異なったプログラムを提供しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			学習支援は、マンツーマンで個別指導を行い、活動の後半は集団療育を行っています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			その日行う児童支援を、支援開始前に、毎回ミーティングを行い共有しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		支援終了時に形式的な打ち合わせは行っていないですが、随時気づいたことは話し合ってます、毎日のミーティングで共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			児童の支援経過記録や課題についてを、来所日毎に記録しています。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			各担当者がモニタリングを行った後、社内カンファレンスで情報を共有してその都度判断をしています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			放課後デイサービスガイドラインの内容を、審議の上、組み合わせ合わせて支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		相談支援事業を通して来書される児童は担当の相談支援専門員も交えて、サービスの検討を行っています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校や学童の職員と連絡調整を行い児童の支援についても情報の共有や連携を行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在、医療的ケアが必要な児童は、通所していません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		保護者様の資料を通して情報を共有しています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		現在、一部の児童が相談支援事業所や他の放課後デイサービスやの担当者と、児童支援の資料を共有しています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		外部の専門機関と連携し、助言をもらっています。また、研修も行っています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	通所支援を専門に行っています。普通級在籍児童と支援級在籍児童は、平時から交流しています。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			各通所毎に、保護者様に当日のお子様の様子をご報告差し上げています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	今後、ペアレントトレーニングの研修を行っていく予定です。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に読み合わせをして確認しております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			随時、保護者相談面接を行っており此方からご案内差し上げています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			イベントなどの催しで、父母共に参加できる機会を設けています。保護者会も企画しています。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		連絡系統や担当を取り決め、対応体制は整備されています。周知は行っておりません。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		不定期ではありますが、行事イベントの案内を送らせて頂いています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報には、鍵をかけて厳重に取り扱っています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			お子様の内的なニーズを、お子様の望む形で保護者様にお伝えしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	今後、児童発達支援にご関心のある地域の方にも来て頂けるイベントを企画しています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		全ての職員は、周知していますが、保護者様にマニュアルの提供は現在行っていません。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			集団療育で、避難訓練を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			職員が修めた虐待防止研修を職員間で共有し、理解を周知しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		身体拘束について職員間では周知徹底しています。今後全ての保護者様にもご案内差し上げる予定でございます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			全ての児童のアレルギー状況を把握し、緊急時の連絡系統も整えています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事例集を作成し、職員間で共有しています。